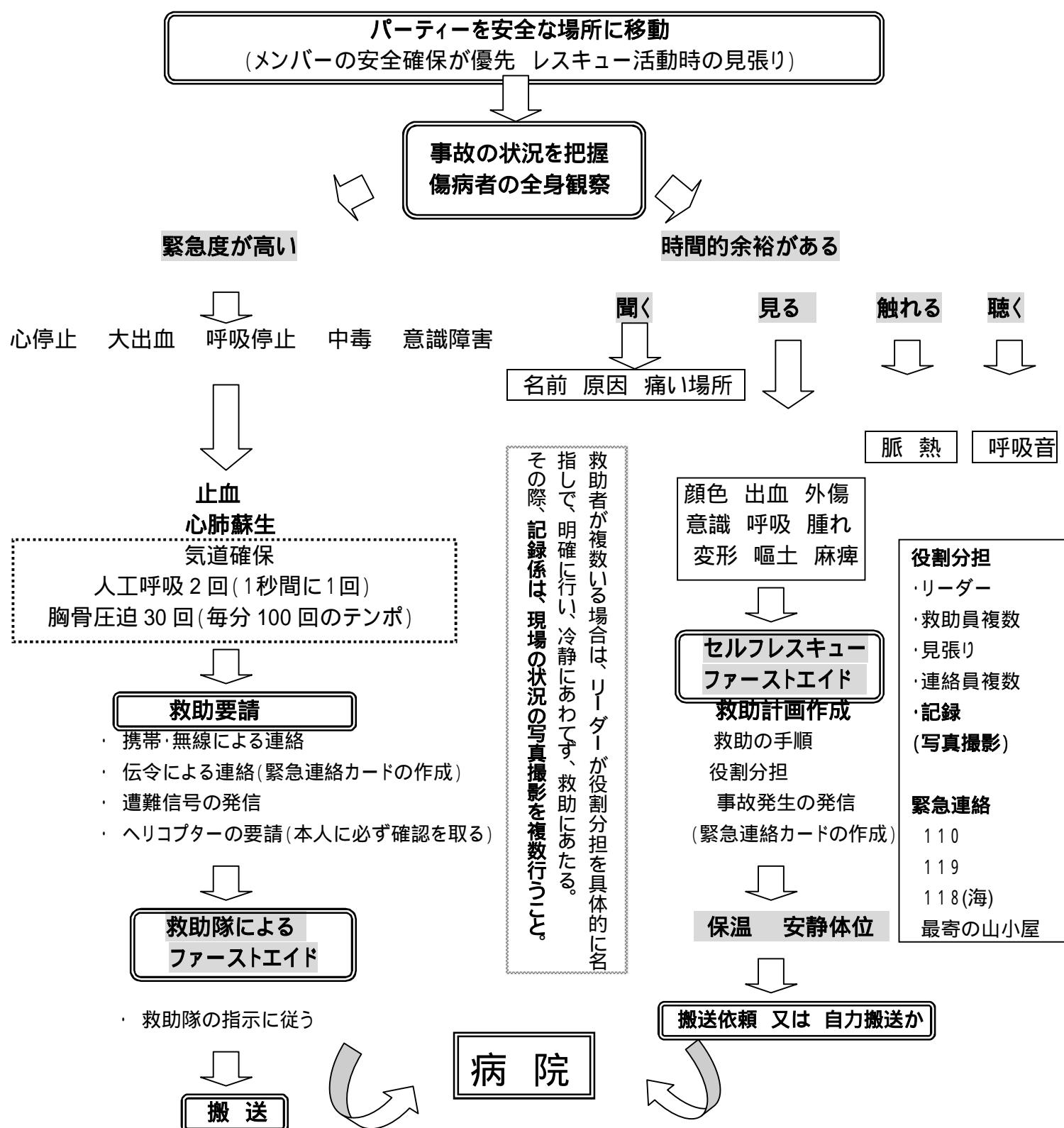


事故発生



アマチュア無線の非常通信方法

非常・非常・非常~

145.00MHz 145.50MHz 433.0MHz 433.50MHz (通信を確実行うためにリピータを活用)

発信：遭難信号は2分間1周期で、最初の1分間で6回の点滅を行い、次の1分間は消灯する。

(10秒間に1回の点灯を6回 1分間消灯 繰り返す)

応答：応答信号は2分間1周期で最初の1分間で3回の点滅、次の1分間は消灯。

(20秒間に1回の点灯を3回 1分間消灯 繰り返す)

山行前に、目的山域の警察及び山小屋の電話番号を携帯に登録しておくと緊急時に便利です。

携帯電話：十分な充電。山行中は、電源を切る。新しい電池で予備も。冬季は、胸ポケット等に入れて、電池の消耗を防ぐ。

登山口に登山届ボックスがない場合がありますので、事前に目的山域の警察署へ登山届を郵送しておくことと確実です

緊急連絡カード

| | | | | |
|----------|----|--------------|-----------------|--|
| 氏名(フリナガ) | 性別 | 生年月日 | 年 月 日 | 血液型 RH <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> 型 |
| 住所 〒 | | | | |
| 緊急連絡先 〒 | | | | |
| 団体名 | 人数 | 登山届提出 提出先 | 山岳保険 (有無) | ヘリ救助 本人意思確認 (有無) |
| 同行者代表者氏名 | | 連絡先 〒 | | |
| 報告者氏名 | | 団体名 | 連絡先 〒 | 携帯 |

事故状況

| | | | | |
|----------------------------------|---------|-------------|------------|------|
| いつ 月 時 | 日 分頃 | 山域 | 山名 | 発生場所 |
| どのように | | | | |
| 事故発生時の天気 晴れ 曇り 曇りのち雨 雨 みぞれ 雪 () | | | | |
| 要救助者の状態 | | | | |
| 顔色 | 出血 | 外傷 | 意識 | |
| 呼吸 | 腫れ | 変形 | 嘔吐 | |
| 麻痺 | 身体的特徴 | 上着の特徴(色、種類) | 救助を待つまでの体制 | |

ケガ・病気の状態 及び 現在の状態(保温と安静状態)具体的に記入